

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

フレイル高齢者・認知機能低下高齢者の下部尿路障害に対する診療ガイドライン 2021

日本サルコペニア・フレイル学会、国立長寿医療研究センター
ライフサイエンス出版、2021年4月15日 第1版第1刷発行

■1 漢方薬・生薬、八味地黄丸、牛車腎気丸

疾患:

前立腺肥大症

有効性に関する記載ないしその要約:

「CQ4 フレイル高齢者、認知機能低下高齢者の前立腺肥大症の治療には、どのような薬剤が推奨されるか？」に対して、解説に下記の記載がある。

『前立腺肥大症の治療薬には、交感神経 α 1遮断薬、ホスホジエステラーゼ5阻害薬、5 α 還元酵素阻害薬、漢方薬・生薬などがある。』

『漢方薬や生薬についても、前述の薬剤に比較して科学的根拠に基づく推奨度は低いが、実臨床においては広く使用されている。』

※『前立腺肥大症を有するフレイル高齢者、認知機能低下高齢者に対する治療薬は「男性下部尿路症状・前立腺肥大症診療ガイドライン」に従って選択されることが推奨される（エビデンスレベル1、推奨レベルA）。』

備考:

「前立腺肥大症に使用される主な薬剤」の表中に、漢方薬として八味地黄丸、牛車腎気丸があり、用法・用量が記載されている。